

名古屋・静岡地区合同勉強会 R4年度 6月 定例会議事録

1.日 時：2022年6月30日（木）18時00分～19時00分

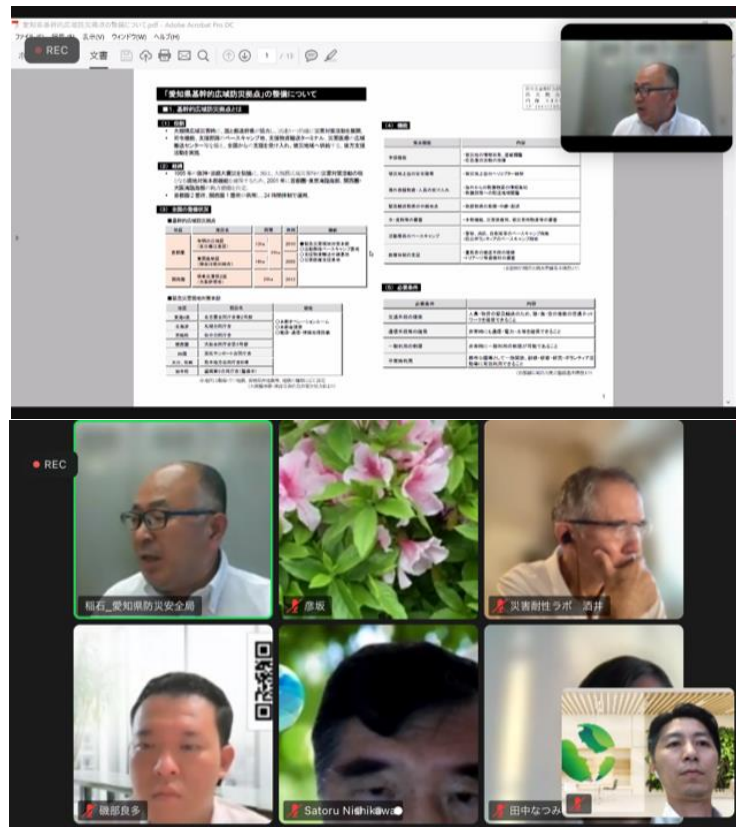
2.場 所：各受講者端末前(テレビ会議システム「Zoom」を活用)

3.出席者：(名古屋地区に加え静岡地区からも参加され28名：敬称略・順不同)

西川智、高橋孝一、松下哲明、彦坂高司、古村太郎、石井秀樹、伊藤哲夫、反町容、明道仁志、宮角良介、加藤恒雄、神谷旭、小林秀人、中村譲治、田中菜由、酒井功、蜂谷正興、大竹秀昇、田中昌太郎、渡辺明美、石川佳代子、池谷千尋、三橋源一、安藤一男、磯部良多、愛知県半田市、愛知県信連、幸田町

4.議事内容：

- (1) 愛知県防災局 稲石様
基幹的広域防災拠点構想について
- (2) 質疑応答・意見交換



5.意見交換

様々な質疑応答、意見交換が行われた。下記はその内容の一部である。

- ・ 水、電力の確保はどうなっているか。

- 自家発電7日分、地下水貯水槽の設置、消防プールの利用など複数検討している。
- 日常的に企業も利用できるのか
→消防学校の設備を広く開放するとともに、PFI を用いて民間から利用方法を広く募集したい。
→物流が集積するため、災害時の交通規制も予想されるが、ここは愛知県警と協議中である。
 - 小学校の社会見学などにも利用できるか
→できる。コロナの影響もあり社会見学が減っているため、活用を促進していきたい
→「人と防災未来センター」は JTB に声掛けしてうまくいった。愛知県も参考にしてほしい。
 - 平時の運営管理も PFI の中に含まれるのか。
→検討中だが、災害時のオペレーションは県、日常メンテ（設備の点検）は民間。
 - 物流の仕分けはノウハウが必要であり、どのように考えているか。
→物流専門家の意見をもらいながら、品目毎に積み替え導線を検討し、スムーズな仕分け・発送を検討している。ただ、県職員が仕分けをせざるをえないと想定しており、できる限りスムーズな導線を今検討している最中である。
 - 燃料の備蓄はどのように考えているか。
→軽油を想定している。中核 SS としっかりとした協定を締結し、バックアップに努めたい。

6.次回開催予定：

日 時：7月25日 18：00

場 所：Zoom 予定

以 上